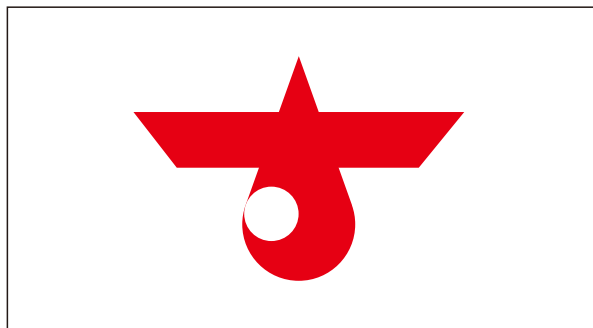


要覧ちとせ

令和4年版



北海道千歳市



千 歳 市 章

町制施行10周年を記念して昭和27(1952)年5月1日に制定し、その後、33(1958)年の市制施行によって市章となりました。

ちとせの「ち」を飛行機の形に図案化して、空港がある臨空都市を表現すると共に、国立公園支笏湖とその連山、豊かな大地など伸びゆく千歳の姿を描いています。

地 名 の 由 来

千歳の旧地名は、アイヌの人たちの言葉でシコツと呼ばれていました。シコツとは「大きくぼ地又は谷」という意味で、大空に鶴が舞い、川にはサケが遡る、自然にあふれた大地でした。

シコツには、太平洋と日本海を結ぶルートのシコツ越えがあり、万治元(1658)年に現在の千歳神社の位置に志古津弁天小社が造営されるほどに、人の往来が多い地でした。

文化2(1805)年、シコツ場所担当の箱館奉行調役並山田鯉兵衛嘉充が箱館奉行羽太正養に、新しい地名を名付けてほしいと願い出ました。そこで、シコツの地には多くの鶴がいることから「鶴は千年、亀は万年」の故事から『千歳』と命名しました。

御 挨 拶

千歳市は石狩平野の南端に位置し、国立公園支笏湖や清流千歳川などの豊富な自然に囲まれた住環境と陸・空の交通アクセスや生活利便性に優れた都市環境が調和する道央圏の中核都市であります。

1926年（大正15年）、当時の千歳村民総出の無償の奉仕によって造成された一本の着陸場を起源とする新千歳空港は、国内有数の空港へと成長を続けており、開港以来、北海道の空の玄関口として、本市はもとより、北海道内全体の地域活性化や観光振興に寄与しております。

本市は、北海道内でも数少ない人口増加を続けている都市であり、平均年齢は道内一若いまちであります。令和2年国勢調査の集計結果における人口は97,950人で、増加数では北海道内で札幌市に次ぐ第2位、増加率では北海道内市部で第1位の伸びとなりました。

今後も、雇用の創出や教育環境、住宅環境の充実等による“人口の定着、転入者の増加”、結婚や出産、子育てに関する希望をかなえる環境づくりをとおした“出生数の回復”、千歳市が持つ多くの観光資源や地理的優位性を生かした“交流人口の拡大”や“関係人口の創出”など、人口増加に特化した施策や事業を“人口戦略プロジェクト”と位置付け、2030年における将来人口10万人を戦略的に目指してまいります。

現在進行中である千歳市第7期総合計画では、全ての市民にとって住み良く、安全で安心できる魅力的なまちとしていくことを基本理念に、目指す将来都市像を『人をつなぐ 世界をつなぐ 空のまち ちとせ』とし、人口増加が続く活気あふれるまちづくりに全力で取り組んでおります。

本書は、市勢の推移と現況を最新の統計資料に基づき体系的に総括したものであり、市民の皆様はもとより千歳市に関心を寄せていただいている多くの方々に様々な情報をわかりやすくお伝えし、より身近に千歳市を感じていただきたいと考え、作成しております。

末筆ではございますが、刊行に当たり資料の御提供をいただきました関係各位に対し、心から感謝の意を表しますとともに、今後とも市政に対して一層の御指導、御協力をお願い申し上げ御挨拶といたします。

令和4年10月

千歳市長

山口 幸太郎

千歳市民憲章

世界をつなぐ 北の大空。

千歳川の 清い流れ。

開拓 ここに一世紀。

私たちは、誇りある千歳市民です。

郷土の発展と、お互いのしあわせを願い、

この憲章をかかげて、力強く前進をつづけます。

- 1 心身をきたえ、仕事にはげみ、
明るく 若々しい まちにしましょう。
- 1 自然を愛し、季節に親しみ、
快よく 楽しい まちにしましょう。
- 1 きまりを守り、力を合わせて、
美しく 住みよい まちにしましょう。
- 1 年よりを敬い、子供の夢をはぐくみ、
温かく 平和な まちにしましょう。
- 1 文化を育て、希望にみちた、
豊かな おちついた まちにしましょう。

昭和54(1979)年 7月1日制定



青葉公園入口に「希望」「健康」「自然」「連帯」「愛」をイメージする憲章像が5体建っています。平成 3 (1991) 年 7月20日建立



市の鳥 ヤマセミ

市のシンボル

木 シラカバ

カツラ

花 ツツジ

ハナショウブ

鳥 コウライキジ

ヤマセミ

魚 ヒメマス

サ ケ

昭和43(1968)年 4月 1 日制定

昭和61(1986)年 4月 1 日制定

平成 8 (1996) 年11月 1 日制定



千歳市都市宣言塔 平成4(1992)年3月31日建設

交通安全都市宣言

産業、経済、文化の著しい発展向上に伴う車両交通の増加により、交通事故は、年々増加の傾向にあり、大きな社会問題となっている。

これら交通事故による悲惨な事故を防止し、市民生活の安全を守るためには、交通環境の改善を図るとともに、全市民が安全交通の自覚に徹することが必要である。

よって、千歳市は、関係機関の総力を結集し、全市民の一致協力のもとに、安全運動を強力に推進し、交通事故のない明るい都市の建設を期し、ここに千歳市を『交通安全都市』とすることを宣言する。

昭和37年3月12日

清く明るく正しい選挙都市宣言

選挙は、民主政治の基盤であり、民主政治の健全な発展と確立のためには、選挙が清く明るく、かつ正しく行なわれなければならない。

民主政治確立のため、本市議会は全市民の期待と熱意を結集し、ここに清く明るく正しい選挙を推進する都市たることを宣言する。

昭和41年12月22日

青少年健全育成都市宣言

千歳市は次代を託すべき青少年が風雪百年輝やく未来を自ら開き、明るく豊かな郷土を建設、職業に誇りをもち、人間性豊かにして自主性を有し、心身ともに健全にして、創造的かつ新しい文化的民主主義的社会建設のにない手となるように成長することを願い、地域の大人達は自ら姿勢を正し、青少年に愛の手を注ぎ、明るい家庭と環境づくりに力を尽くし、全市民の総意を結集して健全育成につとめることを決意し、ここに「青少年健全育成都市」たることを宣言する。

昭和43年3月27日

スポーツ都市宣言

私たち千歳市民は、スポーツを愛し、スポーツを通じて健康でたくましい身体をつくり、豊かで明るい郷土を築くため、次の目標を掲げて、ここに「スポーツ都市」を宣言する。

記

- 1 市民すべてがスポーツを楽しみましょう。
- 2 力をあわせてスポーツのできる場をつくりましょう。
- 3 次代をになう青少年のため、地域にも職場にも、スポーツの機会をつくりましょう。
- 4 スポーツを通じて、世界の人々と手をつなぎましょう。

昭和45年6月29日

暴力追放・防犯都市宣言

私たちの日常生活が明るく平穏で、かつ安全であることは、市民の共通の願いであります。

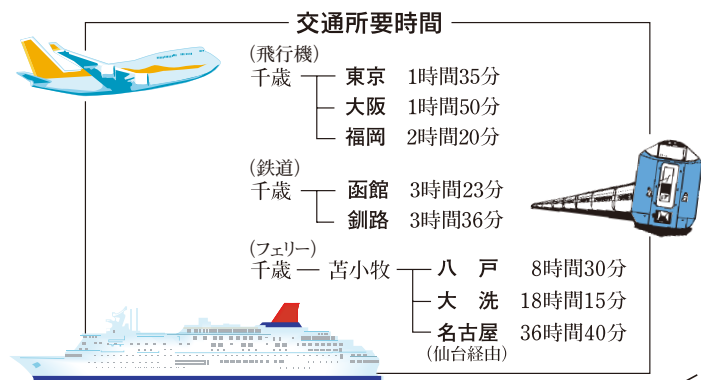
しかしながら、社会情勢の目まぐるしい変化に伴って、犯罪・暴力は一向に減少する傾向が見られません。

千歳市は、国際空港を目ざす新千歳空港と、1,000万人を超える乗降客、そして国立公園支笏湖が所在し、国際観光都市としての機能を有し国際都市を目ざしております。

市民の明るく安全で、かつ暴力のない平和な日常生活を確保するため、市民の総意を結集し、青少年の非行防止、長寿社会に対応した高揚を図り、犯罪・暴力のない明るく住みよい街づくりを決意し、ここに暴力追放・防犯都市を宣言します。

昭和63年3月28日

千歳市管内略図







利用される皆様へ

- 1 特に注記しない限り年は暦年、年度は会計年度を示しています。
- 2 統計表などの番号について、掲載を中止したものは欠番となっています。
- 3 統計表などは千歳市の行政区域内が原則ですが区域外を含むものもあり、その旨注記しています。
- 4 個々の数値の計が総数と一致しないものがあるのは、単位未満四捨五入によるものです。
- 5 表・文中において特に単位表記していない数値は全て実数です。
- 6 統計表に用いた符号は次のとおりです。
 - 「0」……表章単位に満たないもの
 - 「―」……該当数値のないもの
 - 「…」……不詳
 - 「△」……負数
 - 「X」……数値が秘匿されているもの
- 7 本書に関する問い合わせ
総務部総務課文書統計係 電話 (0123) 24-0137 Fax(0123) 22-8851